



Title	デザイン理論 58号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2011, 58
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/53583">https://hdl.handle.net/11094/53583</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# デザイン理論 58/2011春

## 目次

2010年度 意匠学会論文賞選考結果報告	横川 公子	1
2010年度 意匠学会作品賞発表	小宮 容一	3

### 学術論文

印象派とガラス建築		
—— 近代技術による心性の変容 ——	秋丸 知貴	5
明治末から大正期における裁断技術の向上を図る動きについて	安城 寿子	19
—— 男性洋服の製作的側面に見る日本服飾の近代化の位相 ——		
映像によるコミュニケーション・デザイン	池側 隆之	35
—— コンテンツにおける創造プロセスの前景化 ——		
蔵田周忠の建築思想の独自性	亀野 晶子	49
—— 代表的著作を手がかりに ——		
韃靼人図の源流を求めて	並木 誠士	65
—— 九博本韃靼人図を手がかりに ——		
石井鶴三の立体造形論	福江 良純	79
—— 島崎藤村像制作過程の検証を通して ——		
フェルナン・レジェと装飾芸術	山本 友紀	93

### 研究例会発表要旨

第203回研究例会（2010年9月4日 於：京都工芸繊維大学）		
明治期における清国市場向け日本陶磁器とその意匠について	前崎 信也	108
芸術における周縁的なものと人間の生	三木 順子	110
—— 「限界芸術」の概念をてがかりに ——		
第204回研究例会（2010年11月13日 於：芦屋大学 大阪キャンパス）		
沿岸部斜面地集落の公私境界部における敷地利用形態について	宮崎 篤徳	112
—— 瀬戸内海沿岸に点在する集落を事例として ——		
市民を活かすまちづくり：「歩きやすい道」をめぐる取り組み	田村 剛	114
—— ゆるやかな市民参加の可能性 ——		
第205回研究例会（2011年2月12日 於：京都精華大学）		
蔵田周忠を中心としてみる東京高等工芸学校	亀野 晶子	116
抽象絵画と近代照明	秋丸 知貴	118
S・ギーディオン, L・モホリ＝ナギ, G・ケペッシュ, R・バンハム, W・シヴェルプシュを手掛りに		

## 図書紹介

ゲイル・グリート・ハナ著, 今竹翠翻訳・監修

西村 美香 120

『エレメンツ・オブ・デザイン』

藤田治彦・川島智生・石川祐一・濱田琢司・猪谷 聡

山形 政昭 122

『民芸運動と建築』

## 会報69号

投稿規程・執筆要領

編集後記

欧文要旨

『デザイン理論』 投稿票